

※財団からの連絡等により、必要に応じて当掲示の内容を更新しますので、適宜ご確認ください。

2025年度 学内選考のある民間奨学財団奨学金一覧

「学内選考のある民間奨学金」とは、各財団への推薦枠が定められている奨学金のことです。大学にて書類審査や面接等を行い、推薦者を決定します。
原則として、成績優秀でありながら経済的事情により学費の支払いが困難な方が対象です。

成績要件：1年生は高校評定値4.0以上、2年生以上は累積GPA 2.6以上です。
収入要件：世帯合計収入 で、給与収入は 1,000 万円未満／自営業等は所得 500 万円未満
また、特に明記がない限り、給付(貸与)期間は大学の正規の最短修業期間です。

◆第1回目受付奨学金 ⇒ 現在、申請受付中
申請書類の提出締切は4月2日(水)です。郵送の場合は、4月2日(水)必着です。
選考面接は4月5日(土)を予定しています。

奨学団体名	給付 /貸与	年額(円) (月額)	推薦者数	要 件
日本証券奨学財団	給付	< 自 宅 > 540,000 (45,000) < 自 宅 外 > 660,000 (55,000)	1	学部2年生で4月1日現在22歳以下の人。資質優秀で、将来社会の各分野において指導的役割を担うべく研鑽に勤しむ者であること。 財団の各種行事等には必ず出席し、奨学生間の意識の高揚、親睦に努めること。 修了後は、証券奨学同友会員となること。 原則、指導教授による推薦所見が必要。 【併給可否】他団体の奨学金および修学支援新制度との併願・併給不可。ただし、機構貸与奨学金、大学独自奨学金との併給可。
同盟育成会 古野給付奨学生	給付	学部生： 480,000 (40,000)	2	2025年4月に3学年に進級し、ジャーナリストあるいはジャーナリズム研究者を目指して勉学に励んでいる成績優秀な学生（就職先まで限定するものではない）で、学費の援助が必要と認められるもの。作文の提出が必要。 採用後は毎年2回の作文の提出、アンケート提出、年数回の研修会への出席が必要。 【併給可否】他の奨学金との併給可
前澤育英財団	給付	480,000 (40,000)	1	学業・人物ともに優秀かつ健康であり、学費の支弁が困難と認められること。 本年度の新入生であること。事前説明会、財団面接に参加できる人。 財団の面接に向けての事前説明会あり（5月20日（火）、5月23日（金）予備日） 経済状況については日本学生支援機構の「給付奨学金制度」の基準に準ずる。
マース奨学財団	給付	600,000 (50,000) 採用年度 限り	2	品行方正で学業成績が優秀であり、学資が豊かでなく、日本国籍を有する大学1～4年生。他の民間奨学財団から奨学金を受けていないこと。奨学金支給期間中に休学(留学等による)を予定していないこと。 GPA 2.7以上。給与収入の場合、3人世帯で600万円、4人世帯で700万円未満を目安。 年に一度の行事に参加必要。 給付期間は2025年4月からの1年間 作文(1,000字程度)の提出あり。 【併給可否】他の民間財団との併給不可、併願可。国、地方公共団体、大学独自、機構(貸与・給付)との併給は可。
エフテック奨学財団	給付	360,000 (30,000)	1	学習意欲が高い優れた学生への支援。年齢制限あり。 年1回の奨学生交流会に参加できること。 給付期間は、1年間のみ(継続申請可)。 【併給可否】他の奨学金との併給は差し支えないが、奨学金給付額の合計額が一般の常識の範囲を超えていた場合は資格なしと判断する。また、国の修学支援新制度の受給者で、文系学部かつ自宅通学かつ第Ⅰ区分の学生は、申請対象外。